

# 事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

一般財団法人教育支援グローバル基金

## 1. 主要な事業の成果

一般財団法人教育支援グローバル基金は、2020年4月から2021年3月に、日本全国の高校生、大学生を対象とした人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」を開催した。

### (1) 奨学金事業

1. **エンデバー2020**：児童養護施設などの社会的養護の施設および里親家庭に暮らす高校生を対象とし、進学準備に際する費用（センター試験受験料、入学検定料など）を年間上限10万円の給付型の奨学金として支給する事業を実施した。
2. **ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2020**：親との死別・離別を経験している、児童養護施設・里親家庭・生活保護受給世帯に暮らしている、などの困難を経験しながらも、高校卒業後に進学し、社会の力となるべく研鑽を積むことを志す若者たちこそ、今後、人の心の痛みに想いを馳せ、世界や日本のために行動するリーダーになる資質を有しているというミッションの下、進学のための奨学金（返済不要）年間50万円を給付。モルガンルイス・バッキアス法律事務所からのプロボノ協力の下、応募要件（保護者が死亡、単親家庭である、児童養護施設に暮らしている、里親家庭に暮らしている、生活保護受給世帯に暮らしている、のいずれか）を満たしていることの確認を法的書類によって行った。
3. **ジャパン未来フェローシップ・プログラム 2020**：上記2. のジャパン未来スカラシップ・プログラムを過年度に修了した者で、継続してビヨンドトゥモローの活動に参加することを希望する者を対象に、年間を通じて各種リーダーシップ・プログラムへの参加機会の提供や、インターンシップへの派遣、キャリア構築にむけたサポートを行う「ジャパン未来フェローシップ・プログラム」を実施した（本プログラム参加者には奨学金給付は行っていない）。

※上記事業の実施以外に、2021年度の奨学金事業の告知・選考活動を2020年度に行った。

### (2) リーダーシッププログラム事業

#### a. 5月オリエンテーションプログラム 2020 2020年5月1日～5月4日（オンライン）

1年間に渡る奨学金事業「エンデバー2020」に参加している高校生、同「ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2020」及び、同「ジャパン未来フェローシップ・プログラム 2020」に参加している大学生を対象に、コミュニケーションスキル向上・視野の拡大の機会を提供した。意見を交わす（発散）⇒まとめる（整理・抽出）⇒発表する、というサイクルを理解することでコミュニケーションスキルの向上に注力した。加えて、自分の知らなかった世界への冒険・探検を通じ、視野を大きく広げることを目的とした、ディスカッションセッション、スピーカーセッション、プレゼンテーション／提言発表会などを実施した。

参加者が日本全国に離れているビヨンドトゥモローにおいては、対面でのプログラムを実施することは都道府県を越えての移動を伴うこととなり、新型コロナウイルス感染拡大リスクを鑑みると従来のような対面での開催は困難である。その為、オンラインでの活動を活性化させ、例年であれば年に3～4回しか会えない仲間とより高い頻度で知り合い、たくさんの気づきを得られるよう、b～dのオンラインプログラムを設計した。

**b. エンデバーオンラインプログラム 2020 2020年8～2021年3月（オンライン：月次で8回開催）**

エンデバー2020参加者（以下、エンデバー）を対象とし、月1回のペースで2時間オンラインプログラムを実施した。各回とも、他分野で活躍するゲストスピーカーより講演、ジャパン未来フェローシップ・プログラム参加者（以下、フェロー）によるセッションを通して、自分の将来について、キャリアについて考え、自己探求を行った。

**c. スカラーオンラインプログラム 2020 2020年8月～2021年3月（オンライン：月次で8回開催）**

ジャパン未来スカラーシップ・プログラム2020参加者（以下、スカラー）を対象に、エンデバーオンラインプログラム2020と同様に、月1回のペースで2時間で行い、ゲストスピーカーによる講演、フェローによるセッションを行った。スカラーは大学・専門学校1年生が対象であるため、「SDGsについて考える」を年間テーマとした。加えて、2020年11月に「ビヨンドトゥモロー パヤオ大学オンライン交流会」を開催した。スカラーが、例年「ビヨンドトゥモロー アジアサマー・プログラム」で交流をしているタイのパヤオ大学教養学部日本語科の学生とSDGsの「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」ふたつのテーマについて意見交流を行った。

**d. フェローオンラインプログラム 2020 2020年8月～2021年3月（オンライン：月次で8回+α開催）**

エンデバー・スカラーの卒業生であるフェローには、前述のb.及びc.のプログラムにサポーターとして参加して貰った他、フェロー独自のプログラムとしてリーダー育成研修を実施した。目標は、「①それぞれが自分のリーダーシップを明確に言語化することができる。②他者が議論に貢献するための手助けをすることができる。③SlackやGoogleドキュメントなどICTツールを利活用ができる。」とした。また、2-4月には、エンデバーやスカラーを他己紹介した文集（Youは何しにビヨンドへ？）の企画、指揮、制作を行った。

**e. イヤーエンドギャザリング 2020 2020年12月19日～20日（神奈川県・東京都）**

コロナ禍に悩まされ続けてきたプログラム運営だったが、第2波が下火となった10月より対面によるプログラムを企画、実施日の12月19日にはコロナ禍再拡大の兆しも見られたが、万全のリスク管理対策を講じた上で、対面プログラムを実施した。希望者のみの参加としたため、最終的に学生の参加者は12名となったが、参加者からは、「今までの人生で最も楽しく充実していた」とのコメントを得た。尚、同プログラムの目標は、以下の通り設定した。

①社会の中で何ができるかの提言の作成 ②未来のリーダーとなる仲間たちとの場の構築 ③将来のビジョンについて考える ④自分との対話

**f. クロージング・プログラム 2021年3月11日（オンライン）**

エンデバー、スカラー、フェローを対象に、一年間のプログラムの集大成として「クロージング・プログラム」を実施した。本財団設立の契機となった東日本大震災について卒業生からの話を聞き、「ビヨンドトゥモロー」と言う場所がいつでも帰って来ることができる場所であることを確認した上で、1年間の活動の総まとめを行った。参加した当財団役員からは、コロナ禍の状況下でオンラインプログラムを中心に学んだ学生、運営したスタッフにねぎらいの言葉が寄せられた。

**g. 3月オリエンテーション・プログラム 2021 2021年3月23日～25日（オンライン）**

エンデバー2021、ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2021、ジャパン未来フェローシップ・プログラム 2021 の参加者全員を対象に年間プログラムへのオリエンテーションを行った。なお、コロナ禍により、予定していたプログラムが実施できなかったことを踏まえ、特別措置として 2020 年度のエンデバー、スカラ、フェローの中で希望する者は人材育成プログラムのみ 2021 年度も無条件での継続を認めた。内容としては、オンライン上で一堂に会し、ビヨンドトゥモローについての理解を深め、仲間たちとの信頼を築き、今後の1年間、自分たちが何をしたいかを考えるためのプログラムを実施した。自分たちのこれまでの体験や、今後、自分たちが学びを深めたい事柄についてチームごとにディスカッションを行ったり、スピーカーを招いてのキャリアセッションを実施したりした。また、初の試みとして、オンラインの特徴を生かした「夜更かしタイム」セッションを設定し、午後9時以降もオンライン接続可能な希望者を参加者として、より懇親を深めるフリートークセッションを行った。

2. 主要な事業の実施状況

(年間奨学事業)

事業名	対象者	実施内容	人数	支出額（円）
エンデバー2020	児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている、または里親家庭に暮らしている高校生（2020年度に2年次、3年次に在籍）	全国を対象とした告知により公募を行い、書類選考、面接選考により、2020年度の参加者の選抜を実施	4名	224,580
ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2020	2020年度に、大学・短大・専門学校に新たに進学する者で、及び、下記条件のいずれかを満たす者。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が死亡</li> <li>・単親家庭である</li> <li>・児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている</li> <li>・里親家庭に暮らしている</li> <li>・生活保護受給世帯に暮らしている</li> </ul>	全国を対象とした告知を行い、書類選考、面接選考により、2020年度の参加者の選抜を実施	10名	4,791,667

(リーダーシッププログラム事業)

事業名	日時	開催場所	対象者	人数	内容	支出額（円）
クロージング・プログラム 2019	2020年2月22日～23日	千葉県・東京都	下記の内、2020年度の奨学金事業に参加しない者 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2019参加者</li> <li>- ジャパン未来フェロー</li> </ul>	23名	1年間にわたる奨学金事業に参加した学生たちが、一年間のプログラムの集大成となる「クロージング・プログラム」に参加し、年間の活動を総括し、今後、一人ひとりがどのような道を歩いていくかを描き、自ら	3,414,757

			シップ・プログラム 2019 参加者 - エンデバー-2019 参加者		の手で未来を切り開くきっかけを得るためのディスカッションを開催。	
ジャパン未来フェロ シップ・プログラム 2019			2018 年度に「ジャパン未 来スカラーシップ・プロ グラム 2018」に参加 していた者。	10 名	年間約 4 回の人材育成 プログラムへの参加、 年間を通じたキャリア サポート、インターン シップへの参加	7,009,721
オンラインプログラム 関連 2020 (3 月オリエン 2020) (5 月オリエン 2020) (エンデバーオンライ ンプログラム 2020) (スカラーオンライン プログラム 2020) (フェローオンライ ンプログラム 2020)	2020 年 3 月 ~2021 年 3 月	オンライン	- エンデバー-2020 参 加者 - ジャパン未来スカー ーシップ・プログラム 2020 参加者 - ジャパン未来フェロ ーシップ・プログラム 2020 参加者	29 名	参加者が日本全国各 地に離れているビョ ンドトゥモローにお いては、対面でのプ ログラムを実施する ことは都道府県を越 えての移動を伴うこ ととなり、新型コロナ ウイルス感染拡大リ スクを鑑みると従来 のような対面での開 催は困難である。そ の為、オンラインで の活動を活性化させ 、例年であれば年に 3~4 回しか会えな い仲間とより高い頻 度で知り合い、たく さんの気づきを得ら れるよう、月次のオ ンラインプログラム を設計。	, 232, 287
イヤーエンドギャザ リング 2020	2020 年 12 月 19 日~20 日	神奈川県・東京都	- エンデバー-2020 参 加者 - ジャパン未来スカー ーシップ・プログラム 2020 参加者 - ジャパン未来フェロ ーシップ・プログラム 2020 参加者 (希望者のみ)	12 名	2020 年度唯一の対 面プログラムに付き 、以下の通り目標を 設定した。 ●社会の中で何が できるかの提言の 作成 ●未来のリーダー となる仲間たちと の場の構築 ●将来のビジョン について考える ●自分との対話	850,815

以上